

令和6年度 本区における情報活用能力に関する実態調査

対 象:区内公立学校の児童・生徒

実施期間:令和6年12月3日(火)～令和6年12月18日(水)まで

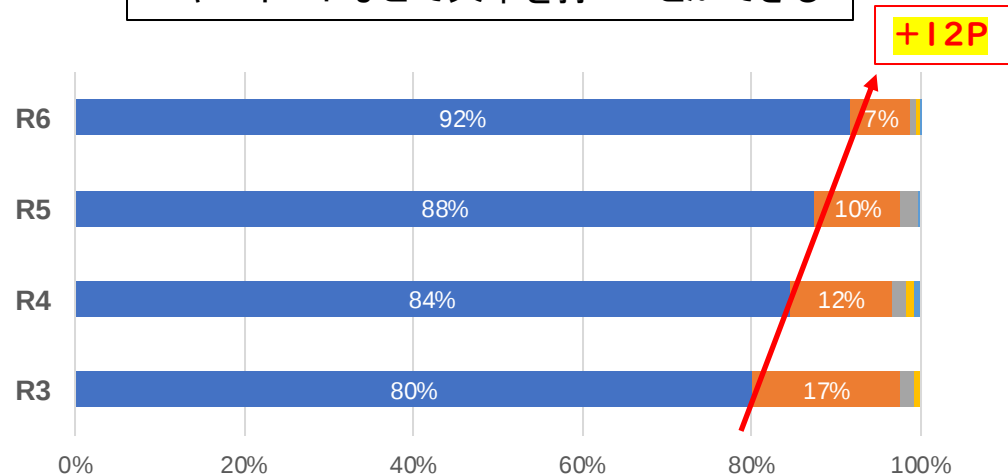
方 法:Microsoft Forms

質問項目:村上唯斗、野澤博孝、高橋純(2021)「情報活用能力指導の実施状況を把握するためのチェックリストの開発と評価」を参考に、本区の実態に応じて作成

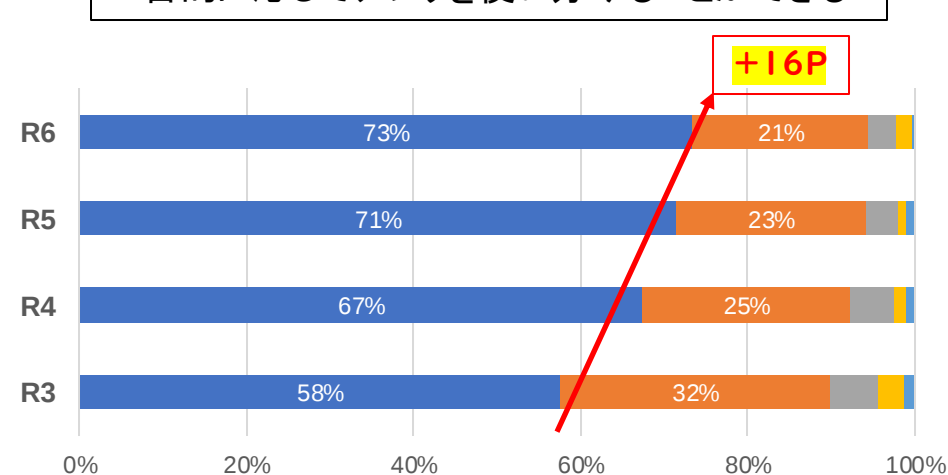
本区における情報活用能力に関する実態調査の結果（中学校・中等）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 質問の意味がわからない

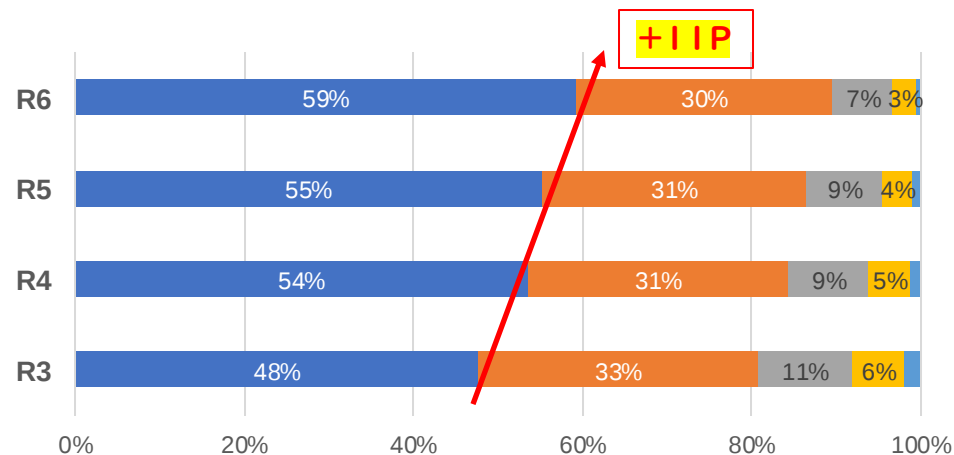
1. キーボードなどで文章を打つことができる



4. 目的に応じてアプリを使い分けることができる



10. コンピュータを活用して友達と意見交換したり協働で資料や作品を制作したりすることができる



「ちよだスマートスクール」が目指す学び（方向性）



Formsを活用したアンケート調査



クラウドを活用した協働的な学び・探究的な学び



教師と子どもが
つながる学び



教師による大型提示装置の活用は
ほぼ100%（令和3、4年度アンケート調査結果）



子ども同士が
つながる学び



オンラインを活用した遠隔授業

氏名	課題名	提出日時	進捗率	評価
山田 太郎	国語 読書感想文	2023/05/10 15:30	100%	A
田中 花子	国語 読書感想文	2023/05/10 16:00	100%	B
佐藤 健一	国語 読書感想文	2023/05/10 16:30	100%	C
鈴木 美咲	国語 読書感想文	2023/05/10 17:00	100%	D
高橋 誠二	国語 読書感想文	2023/05/10 17:30	100%	E
伊藤 明日香	国語 読書感想文	2023/05/10 18:00	100%	F
渡辺 拓也	国語 読書感想文	2023/05/10 18:30	100%	G
中村 莉子	国語 読書感想文	2023/05/10 19:00	100%	H
小林 大輔	国語 読書感想文	2023/05/10 19:30	100%	I
加藤 真由	国語 読書感想文	2023/05/10 20:00	100%	J

学習履歴を活用した自己調整学習



子ども自身が学習
方法を決める学び

教師は授業改善を図り、ファシリテーターへ



学習者自身がデジタル教科書やデジタル教材等を活用



SAMRモデル ※ICTが授業にどのような影響を与えるのかを示す尺度

Substitution【代替】
アナログでできることを
デジタルに代用

Augmentation【増強】
デジタルの特性を活かし、
学習効果を増大

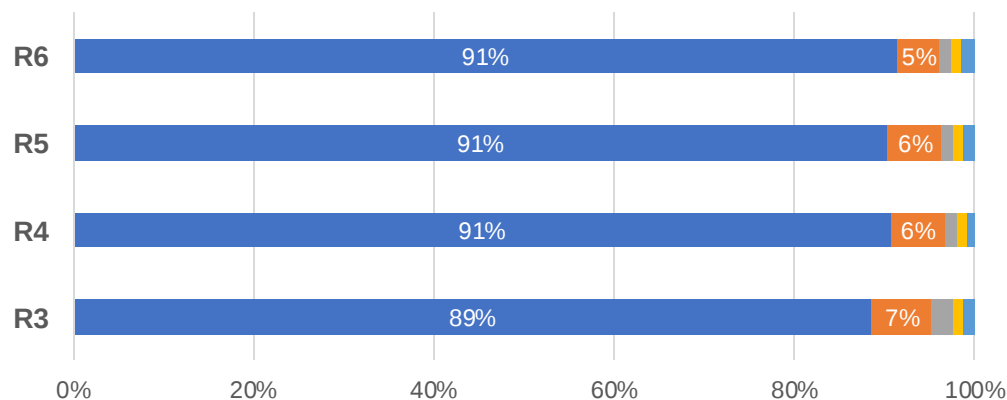
Modification【変革】
授業デザインが変容し、
新たな学びの実践へ

Redefinition【再定義】
実社会の課題解決や
新たな価値の創造

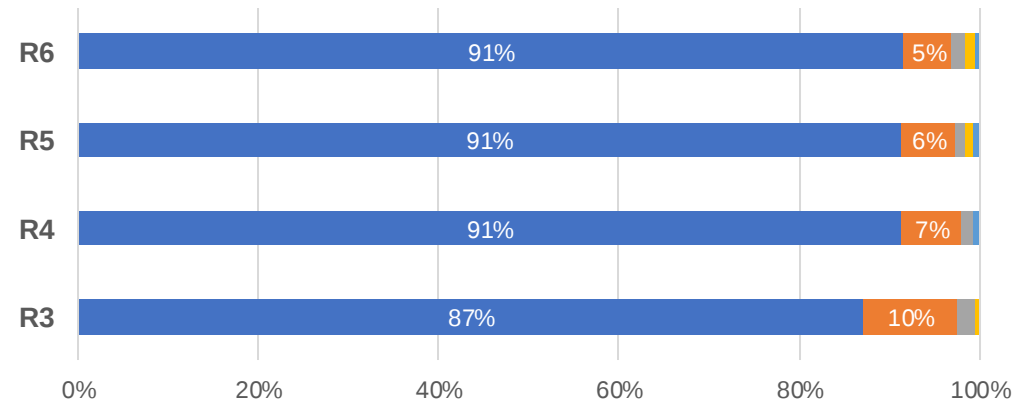
本区における情報活用能力に関する実態調査の結果（小学校高学年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 質問の意味がわからない

1. 写真や動画をさつえいすることができる



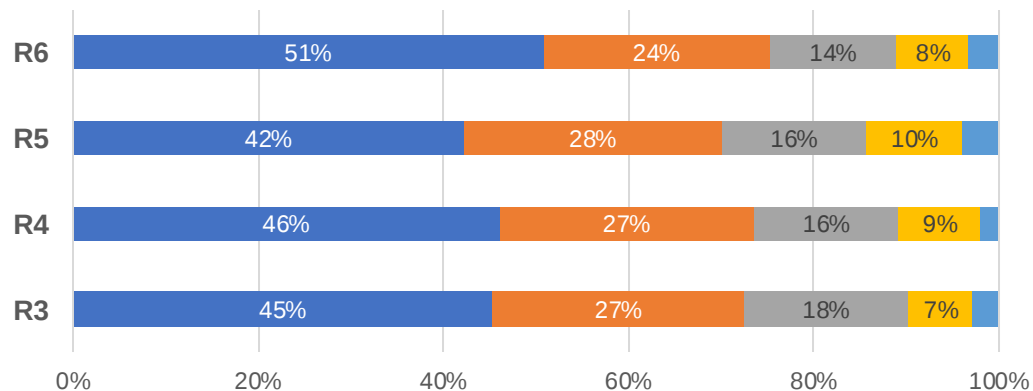
2. キーボードなどで文章を打つことができる



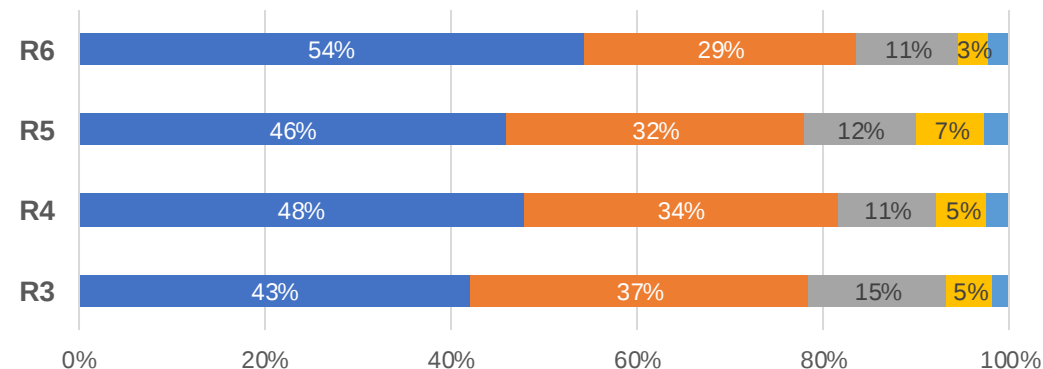
本区における情報活用能力に関する実態調査の結果（小学校中学年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 質問の意味がわからない

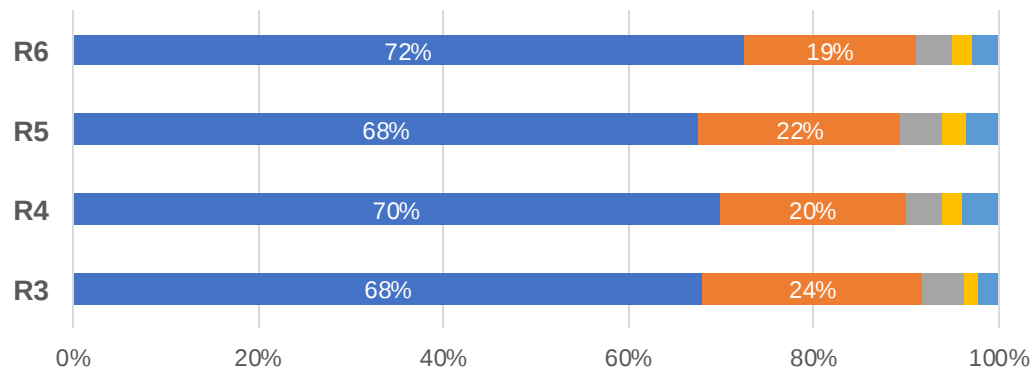
21. 文や写真、動画などを組み合わせて、まとめることができる



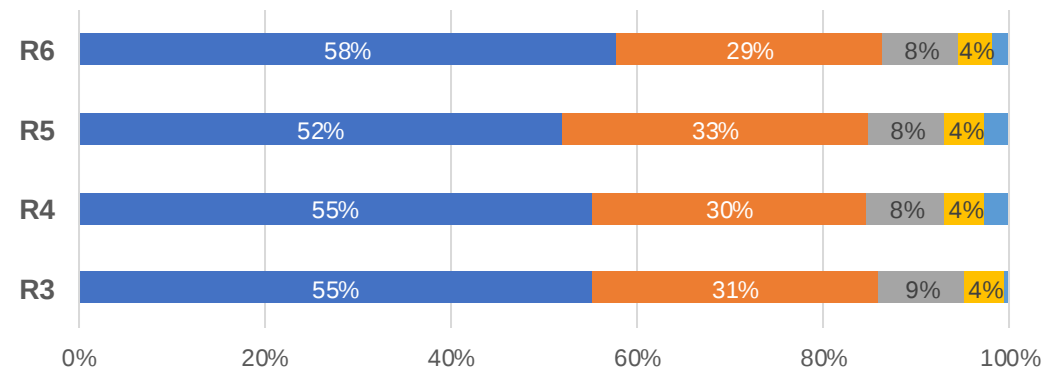
22. 声の大きさや間の取り方を工夫して発表することができる



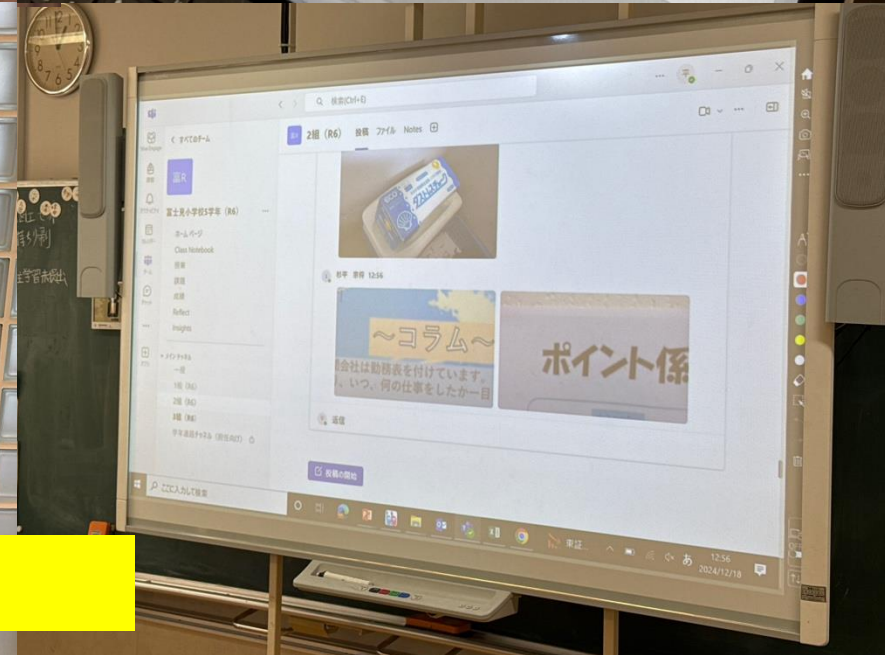
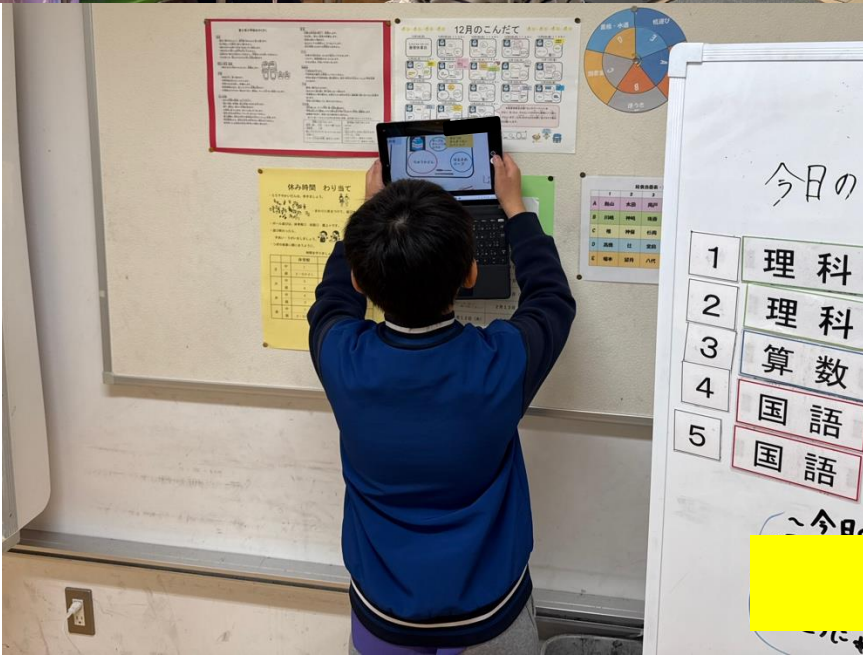
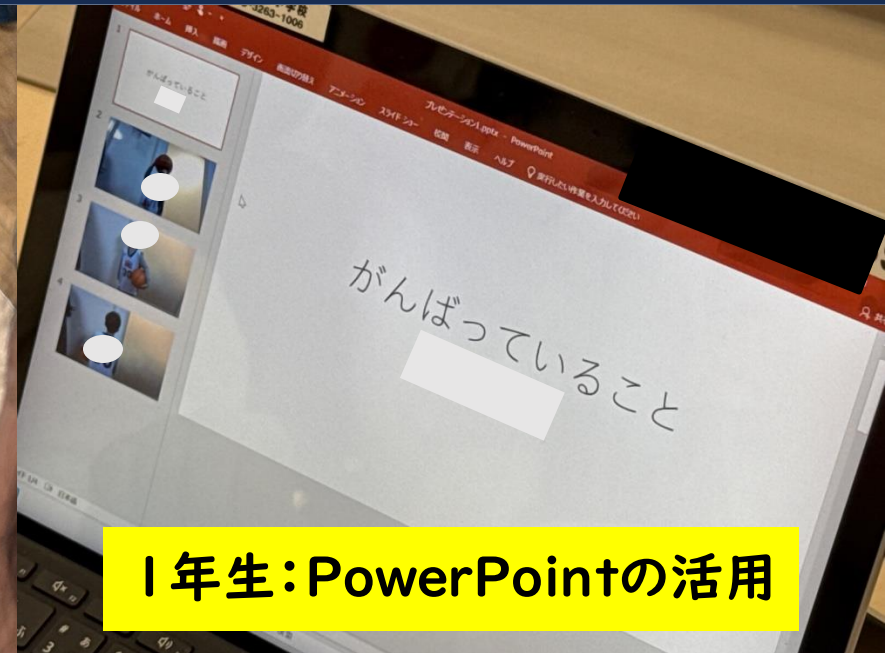
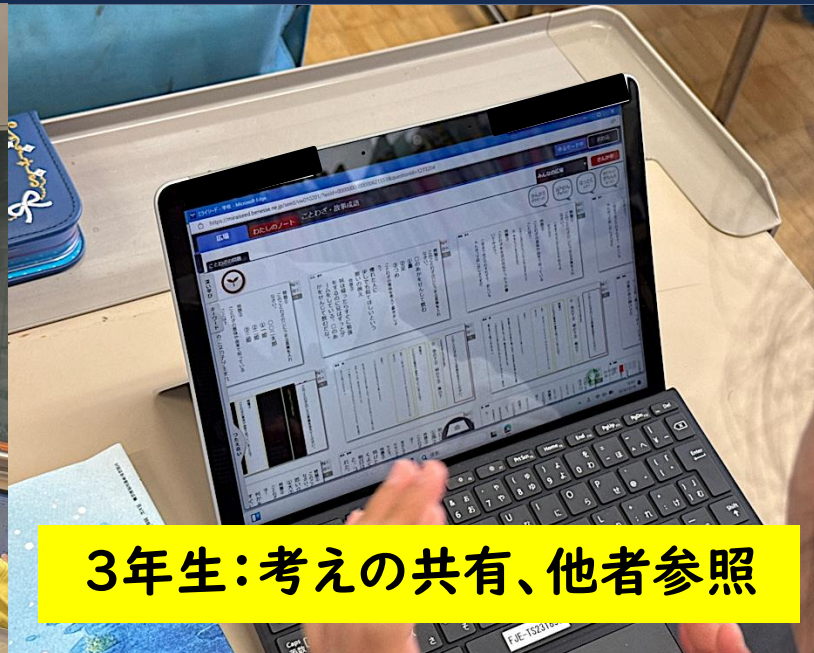
10. インターネット上には、役立つじょうほうの他に正しくないじょうほうやきけんなじょうほうもあることをよく考えるようにしている



11. コンピュータやインターネットの使いすぎによるけんこうへのえいきょうをよく考えるようにしている



「ちよだスマートスクールの日」 ICTを活用した授業公開@富士見小学校



5年生：カメラ機能とクラウド活用

6 千子指導発第 43 号

令和 6 年 4 月 12 日

千代田区立学校長 殿

千代田区教育委員会事務局子ども部

指導課長 上原 史士

「情報モラル教育」強化月間の取組について

日頃より各校におかれましては、ICT の利活用に向けた取組を推進していただきましてありがとうございます。

さて、「令和 5 年度 本区における情報活用能力に関する実態調査の結果（考察）」から、子どもたちが ICT を安全・安心に活用していくために、情報モラルに関する指導を意図的・計画的・継続的に行っていく必要性があることが明らかになりました。

また、令和 6 年 2 月 14 日に開催された、第 2 回教育 ICT 推進委員会において、委員から「具体的な事例を用いながら、学校と家庭が連携しながら情報モラルを高めていくことが必要である」旨のご意見をいただきました。

つきましては、以下のとおり、年度別強化月間を設けますので、ご理解・ご協

「情報モラル教育」強化月間
令和6年4月25日から令和6年5月31日まで

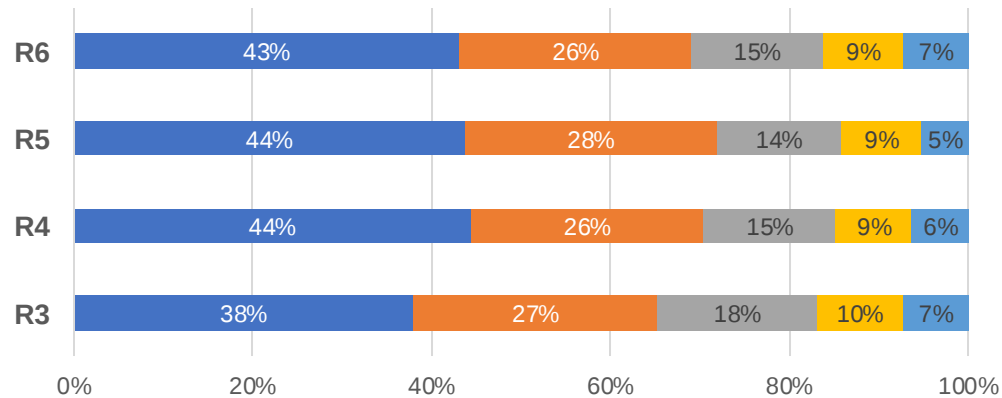
「ちよだスマートスクールの日」 講演会・意見交換会@千代田小学校



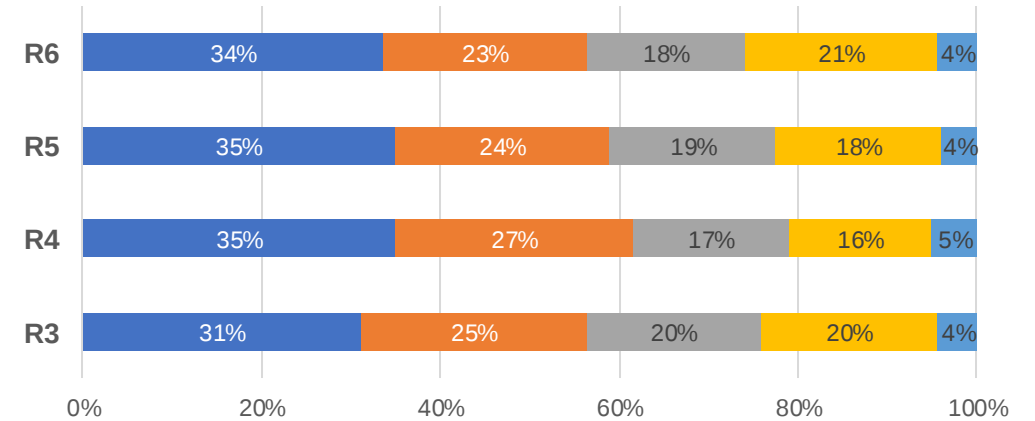
本区における情報活用能力に関する実態調査の結果（小学校高学年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 質問の意味がわからない

8. プログラムで、コンピュータが動いていることをよく考えるようにしている



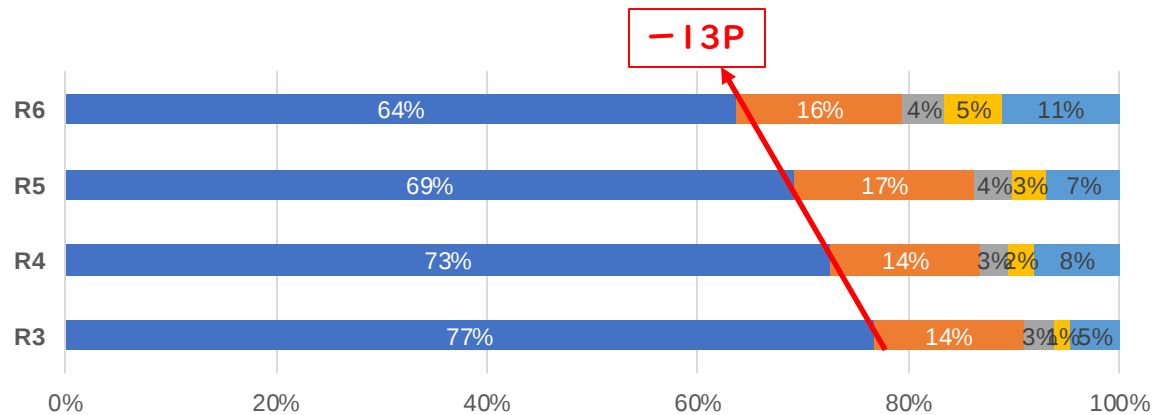
9. コンピュータのプログラムを作ったり、直したりすることができる



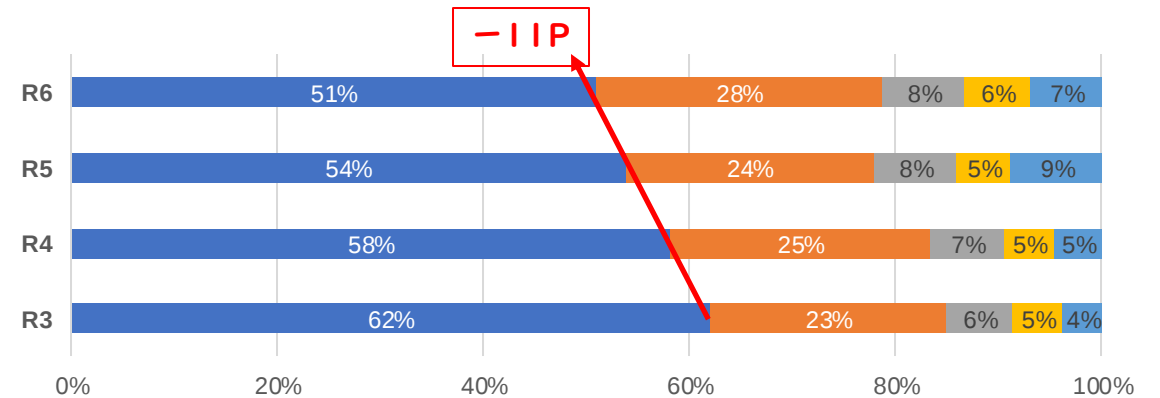
本区における情報活用能力に関する実態調査の結果（小学校低学年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 質問の意味がわからない

6.ID(アイディー) やパスワードを大せつにかんりするようにしている



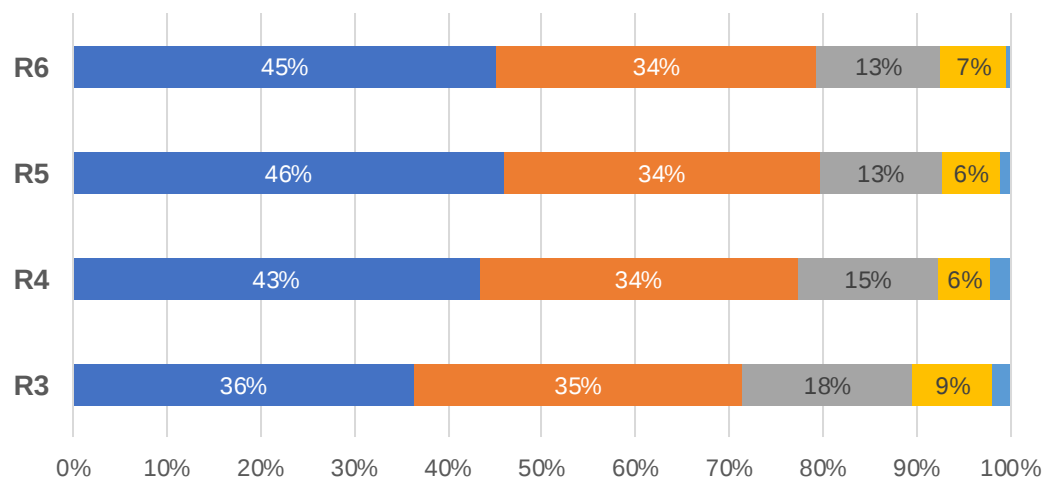
8.みちかな人にきいたり, みのまわりのばしょからしらべたりすることができる



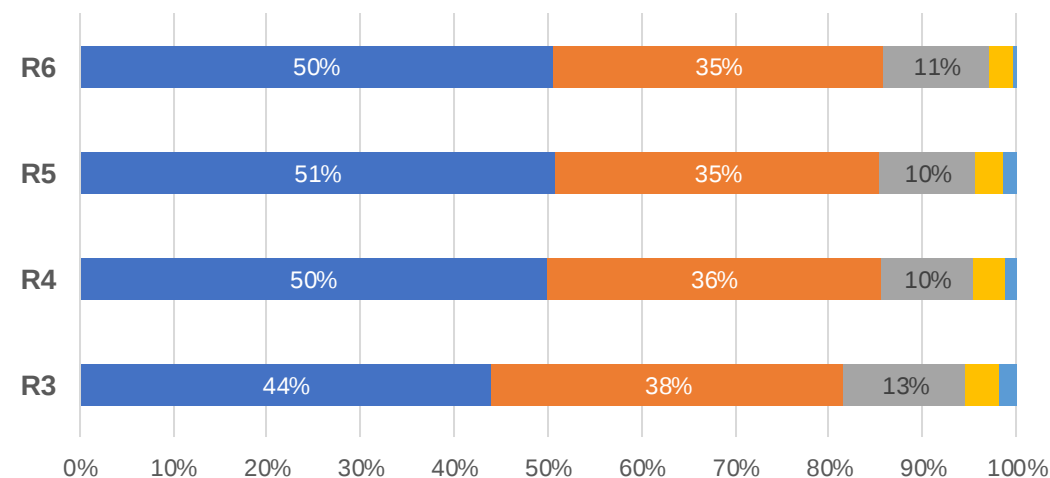
本区における情報活用能力に関する実態調査の結果（中学校・中等）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 質問の意味がわからない

8. インターネットや新聞などの情報を伝えるメディアの特徴をよく考えるようにしている



30. インターネットや新聞が伝える情報には、発信者の意図が含まれていることをよく考えるようにしている



ちよだりテラシー教育の推進

1 背景

SNS等の普及により、インターネット上で誰もが容易に自己発信ができ、その情報を簡単に入手できる社会となった。こうした社会の中では、自分の考えをしっかりとちながら情報を読み解き、判断し、周囲に流されることなく行動すること、そして現実社会における人と人との触れ合いの中で自分を見つめ直すことが重要である。
(千代田区子育て・教育ビジョンより)

2 ちよだりテラシー教育について

リテラシーとは、特定の分野に関する知識や理解力、その知識を活用する能力のことであり、ちよだりテラシー教育では、特に「メディアリテラシー」を中心に育成を図っていく。
「メディアリテラシー」とは、メディアから得られた情報を批判的に分析し、評価し、適切に活用する能力のことである。具体的には、テレビ、新聞、インターネットなどのメディアが伝える情報の真偽を見極め、偏りや誇張を理解し、情報を正確に解釈する力のことである。

育成する力

事実と意見を
区別する力

批判的に
読み解く力

発信者の意図を
考える力

類似情報を
比較する力

善悪を判断し
て行動する力

目指すべき子どもたちの姿

情報を読み解き
自己の信念に従って
行動ができる人

(千代田区子育て・教育ビジョンより)

確かな情報を見極める力

自分の考えを
形成する力

学校での取組

(1) 国語科を中心とした
言語能力を育む指導の充実

(2) 読書活動の充実

(3) 資料やデータの見方・活用
における指導の充実

(4) 情報モラル教育の充実

(5) AIなど新たな技術の体験・活用

九段中等教育学校 優秀賞受賞



令和7年1月22日 リーディングDXスクール事業 成果報告会



英国大使館との連携授業「サイバーセキュリティー」@九段中等教育学校



令和7年2月14日 神田一橋中学校 研究発表会

